

Start a New Project

コミカルなアバターでネット動画に個性を!

AZZURO (アズーロ)

近年ネットメディアを中心に動画活用が盛んになっており、Youtubeなどを利用して販売促進用の動画を公開する企業や団体も増えています。今回はそんなインターネット動画時代に向けたNew Projectをご紹介します。

所在地 吉田郡永平寺町谷口12-60
代表者 小林 孝文 氏 TEL 0776-63-4805
✉ tamijan@kore.mitene.or.jp
https://www.big-advance.site/c/170/1350

爆発的に広がるインターネット動画

AZZUROの小林代表は、漫画家アシスタントから地方公務員を経て2001年にイラストレーターとして独立したというユニークな経歴の持ち主。独立してからは、公共・民間を問わず広告や書籍用を中心にイラスト制作を手掛けてきました。最近では、SNSやホームページなどネットメディアでも多く利用されており、イラストが活躍するフィールドは広がっています。一方で、DTPソフトの一般への浸透や、簡単なイラストであれば安価に手に入れられる環境になるなど、アゲンストの風も吹き始めています。

そういったなか、小林代表は新しいビジネスチャンスとしてインターネット動画分野に目を向けます。これまで培ってきたイラストレーション技術を、アニメーションや動くキャラクターなどネット動画に活用できないかと考えたのです。

イラストからインターネット動画へ

きっかけは、ある制作会社から受託したインターネット動画用のアニメーション制作の案件でした。当時、ちょうどAdobe社のアニメーション制作ツールを購入したばかりだった小林代表がこのソフトを使用してアニメーションを制作したところ、アニメーションづくりがかなり簡単になっていることに気がきます。この業界は「イラスト制作」「シナリオ制作」「動画制作」「ナレーション」「動画編集」等々、分業が進んでいますが、自社のイラスト制作スキルと組み合わせれば新しいビジネスを生み出せるのではないかと直感します。

イラストはコンテンツの一部で使用されることが多く下請け作業になることが多かったのですが、インターネット動画の制作はお客様から直接仕事を受託でき、利益率も向上します。「従来のイラスト制作で一定の収入を確保しつつ、成長性のある分野に参入できることに大変な可能性を感じた」と、



小林代表(左)と動画制作を担当する野邊さん(右)

小林代表は振り返ります。これを機会に同社は独立して初めて新しいメンバーを迎えることになりました。

アバター制作事業に参入

インターネット動画ビジネスの次に目指したのは「アバター」提供サービスへの参入です。

「アバター」は、インターネット上で自分の分身として使われるキャラクターのことをいい、主に多人数が参加するオンラインゲームや、VR(仮想現実)システム、ネット上のコミュニケーションサービスなどで使われており、最近ではWeb動画でも使われ始めています。アバターを活用することで、動画にエンターテインメント性と独自性が生まれることから、アバターのニーズは今後ますます高まっていくと考えられていますが、利用には一定のスキルが必要なおともあり、まだまだ活用は一部のマニアの間にとどまっています。

コミカルなアバターで動画に個性を

小林代表は、自社のアバター制作事業の特徴をこう話します。「巷にはマニアの方が作った髪の毛の動きや表情の細部までこだわったクオリティの高いアバターもあります。しかし、あまりにリアルにこだわ



アバター制作画面

ると、動かさないといけないパーツが増え、どうしても一般の方では使いこなせません。当社はリアルにいたずらにこだわるのではなく、少ないパーツで動かせるコミカルなタイプの個性のあるアバターが提供できればと考えています」

「当社のアバターはお客様自身が動かすことができます。最近では長編の動画をアップするより、短尺の動画を頻繁にアップすることを求められていますので、ひとつのリアルで精度の高いアバターよりも、お客様自身が動かせる、自作動画で活用できるものを必要としています。当社では、今回の事業でそういった新しいニーズをつかみたいと思っています」と

小林代表は、新しい挑戦に意気込みます。



コミカルなアバターで落語を再現